



## 今月の特集

# 「祭り」を読む

10月になり、ようやく秋が感じられるようになりました。

秋といえば皆さんは何を思い浮かべますか？「読書」「スポーツ」「食欲」等、様々ありますが、高砂市では「祭り」を挙げる方が多いのではないのでしょうか。

秋祭りは、煌びやかに揺れる神輿や豪華絢爛な屋台の練り合わせ、多彩な神事など、勇壮さと華麗さを併せ持った高砂市の一大イベントです。

そこで今月は「祭り」をテーマにした本を集めてみました。ぜひ手に取って本の中の祭りの世界を楽しんでください。

初心者でもわかる  
日本の神々と祭り  
歴史探訪倶楽部/著  
(172 レキ)

ファイヤーボール  
原 宏一/著  
(F ハラ)

ニッポンありゃまあ  
お祭り紀行  
椎名 誠/著  
(386.1 シイ)

## 読書週間講演会 ビデオカメラを持って街へ出よう！

撮りたいものをどう撮るか、ドキュメンタリー作品づくりについて  
解説していただきます

日 時 10月28日(日) 13:30~15:00

場 所 高砂市立図書館 2階 多目的スペース

講 師 映画監督/甲南女子大学教授  
池谷 薫 氏

定 員 40名(申込先着順)

申込方法 10月6日(土)10時~ 直接または電話で図書館まで



図書館創立60周年スタンプラリー対象イベントです(詳しくは館内のチラシをご覧ください。)



## 10月27日～11月9日は 読書週間です

終戦の2年後の1947年（昭和22年）、まだ戦火の傷痕が至るところに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と決意をひとつに、出版社、取次会社、書店と公共図書館が力を合わせ、さらに新聞・放送のマスコミ機関の協力のもとに、第1回「読書週間」が開催されました。それから70年以上が過ぎ、「読書週間」は国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民」の国となりました。その一方、物質生活の豊かさに比べ精神生活の低迷が問題視されている昨今、論理的思考の基礎となる読書の重要性は、ますます高まってきています。

今年の「読書週間」が、みなさん一人ひとりに読書のすばらしさを知ってもらおうきっかけとなることを願っています。



## 図書館からお願い

図書館の本のページが外れていたり破れていたりしているのを見つけた時は、セロハンテープで修理しないでください。

セロハンテープは劣化して変色しますので、本の傷みの原因となります。外れたページが無くならないように注意して頂き、返却の際に図書館員にお知らせくださいますようお願いいたします。



図書館の本は  
市民皆さんの財産です

## 児童向け行事（申込不要・無料）場所：おはなしのへや

### えほんのじかん

10月6日(土)14時～

絵本の読み聞かせ  
対象：幼児

※参加は子どものみ

### おはなし会

10月13日(土)・20日(土)  
14時～

絵本の読み聞かせと  
ストーリーテリング  
対象：5才～小学低学年

※参加は子どものみ

### えほんのもり

毎週火曜日  
1回目 10時～  
2回目 10時30分～

※内容は同じです  
図書館員による紙芝居と  
絵本の読み聞かせ  
※親子で参加できます

### えほんとおはなしの会

10月17日(水)10時～

わらべ歌あそび、絵本、  
紙芝居、おりがみなど

※親子で参加できます

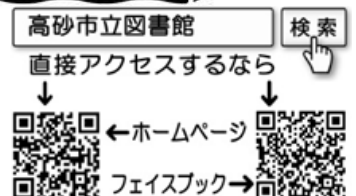
### 親と子で楽しむわらべ唄

10月25日(木)10時30分～  
わらべ唄、絵本

定員 10組

※親子で参加できます

**10月の休館日は  
1日(月)です。**



※「らいぶらり高砂」は『高砂市立図書館ホームページ』に掲載しています。